2016年9月の格言

平成２８年９月の格言は

会社の中の
すべての数字は
必ず「傾向」で見よ

事業経営に最も必要な情報は
「傾向」であって「断面」ではない

会社の数字というのは
絶対額でみることはいうまでもないが
それだけでは不充分なだけでなく
時には判定の誤りをおかすことになるから
心しなければならない

絶対額は大切である
しかし、傾向というのは
別の意味では絶対額よりも
大切であるということを
忘れてはならないのである

だから、会社の中のすべての数字は
かならず「傾向で見る」という態度をとり
事態を正しくとらえ
正しい判断とそれにもとづく
正しい決定をしなければならないのである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2016年8月の格言

平成２８年８月の格言は

事業は
逆算である

目標を定めずに成り行き経営をを行って
懸命に努力して結果はどうなったのかは
決算書でみるというのでは
正しい事業経営などできるものではない

「事業経営は逆算である」ことを
社長は肝に銘じて経営を行わなければならないのだ

その逆算は利益計画から始まる

つまり「手に入れたい利益を目標として設定し
その利益を上げるために必要な売上高を逆算する」
というふうにである

ところが、この事を知らずに
「まず可能な売上高を予測し
その売上高にもとづいて利益を計画せよ」
と教える人は数多い。

これは計画ではなくて「計算」にしかすぎないのだ

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2016年7月の格言

平成２８年７月の格言は

大切なことは
「コスト」ではなく
「収益」である

コスト病というのは
会社の中で最も危険な病気の一つである

必ず製品の質が落ちるし
一番大切なものは「コスト」になってしまい
お客様サービスにかかるコストなど
真っ先に削られて
お客様をおこらせたり
信頼を無くしたりするのだ

極端な場合には
コスト病が会社をつぶしかねない程
恐ろしいものなのである
今時の中小企業では
すでに削れる費用などは殆どない
多少のムダはクッションとして
必要なものなのである

大切な事は
コストではなくて「収益」なのである

コスト病患者にはこのことは全く分からない
一のコストを減らせれば
それによって十の収益が減っても
コストにしか関心を示さないのである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2016年6月の格言

平成２８年６月の格言は

営業日報は
外部情報に限定せよ

たくさんの会社で
営業日報を提出させている
しかし、それらの大部分は
営業日報ではなくて
セールスマンの『行動日報』である
１日の時間割があり
何時から何時にどこの会社に行き
誰に会い、どんな要件であった
というような事を細かく報告させている

いったいこんなことを報告させて何になるのだろうか

営業日報は外部情報に限定するのである

これはセールスマンにとっては
自らの行動ではないので嘘を書く必要はない

外部情報とは
顧客に関する事と競争会社に関する事である

顧客の要求、小売店舗の場合に占有率、欠品補充状況などが
必要である

忘れてはならないのはクレームである

競合会社の情報としては
新商品の蛇口作戦、セールスマンの蛇口訪問回数と
社長、営業部長などの偉い人の訪問の有無
がその中心になるのである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2016年5月の格言

平成２８年５月の格言は

**セールスマンの
報告だけ聞いても
外部の様子は分からない**

社長が私に語ってくれたのは次のようなことだった。

『セールスマンの案内でお得意先を回ったが

訪問するところは三流店と思われるようなところばかりである。

次に訪問するところは立派だろうと期待していたが
それは全部外れてしまった。
車を走らせていると向こうに立派なスーパーが見える。
そこへ寄るだろうと思っていると素通りである。

次にまた大型店が見えてきたので
今度こそと思っていると、そこへも寄らない。
まさか、うちの得意先があんな小さなところばかりとは
夢にも思っていなかった。
本当にガッカリした』というのであった。

社長とは
かくも世間知らずである。
会社の中にジッと座っていて
セールスマンの報告だけを聞いていても
外部の様子は分からないのである。

まさに『百聞は一見にしかず』なのである。

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2016年4月の格言

平成２８年４月の格言は

セールスマンの適格者は頭の回転が遅く社交性に欠け口が重いことである

世に有能なセールスマンの
イメージというものがある

それは、頭の回転がよくて社交性に長け
弁舌がさわやかであること
というところが相場である

ところが
現実は全然逆
上のようなセールスマンはもっとも不適格である

こうしたセールスマンは
個々の商談には強いかもしれない
しかしそれは、かえってお客様に
『してやられた。今度から気をつけよう』
というような警戒心を起こさせるような危険がある
だから『押し込み販売』には向くかもしれない

しかし『押し込み販売』は販売の邪道である

セールスマンの適格者は
頭の回転が遅く、社交性に欠け、口が重いことである
そして真面目で根気強い人間である
『陰ひなたなく根気強く』こそ
セールスマンに要求される最も大切なものである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2016年3月の格言

平成２８年３月の格言は

『小さな市場で大きな占有率』こそ優良会社になる近道である

一般に
中小企業は大きすぎる市場を狙いすぎる
たくさんの会社が狙うために
当然のこととして過当競争になっていく

そして
その中で苦戦し低業績に泣くことになるのである

賢い社長は自らの規模に合った市場を狙う
そこには強敵は少なく
弱小会社を相手に有利に
戦いを進められるのである
『小さな市場で大きな占有率』こそ
優良会社になる近道なのである

大きすぎる市場の場合には
市場の細分化を行って
細分化した市場のなかで
必要な占有率を確保していくのである

占有率の高い細分化された市場を
ひとつずつ増加していく

言い換えると
自らの手で対象市場を小さくし
その中で大きな占有率を確保する
ということなのである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2016年2月の格言

平成２８年２月の格言は

値段を値切られるのは 値切られるほうが悪い

「お客様あっての会社」
これが私の信条である
だから、たとえ、どんなお客様であろうとも
誠心誠意のサービスをするのが当たり前である

もしも、お客様が十分な代価を払ってくれなければ
サッサとそのお得意先と縁を切るべきである

縁も切らずに、しかもそのお得意先一辺倒で
これの打開策を何もとらずにお得意先を恨むのは間違っている
と言うよりは
社長の怠慢以外の何ものでもないのだ

お客様に少しでも恨み心がでたら
もう、そのお得意先に誠意をつくす事はできないのだ
だから恨むのではなくて

自らの力で新たなお得意先を開拓しなければならない

それもやらずに
お客様を恨むとは何事か
というのが私の考え方である

自らの努力を忘れ
お客様を恨むのは誤りである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より

2016年1月の格言

平成２８年１月の格言は

平成２８年の予想
丙申
（へいかのさる）

干支暦では「丙申」（へいかのさる・ひのえのさる）となります

干支の干にあたる丙は中国の五行説である木星・火星・土星・金星・水星の五要素の内の火星の陽にあたります。丙は五行を東西南北と中央の５方向に割り振っ

をに意にあのが成の。命す。物意だび夏陽をてが等事を済す。算まはう年伸ば太火全のく物等経まはり申いるはえをのはも開て花がい申あしと降字す。言丙界星いを得草すてすが味妻がうま。平治発姿ブ受丸。日るンをすこ模東の毎での然火か来を。ましで味意稲ジいりの総う政としッをのはきリル味起規。家年節こ自る温未力すり示申意をの一とあ支のょが段ばト恵日年でオダ意は小ん。国季ははすく・のまあ暗はの化らセ申が二年し力一伸う恩はの揮オメの争のせは１０しでと味るる陽りがを方星変かッ。味十のま国るをいな旗こ発リは申戦でまでて置学陽意明て太あ割性の金・天メす意と申みのび筋う大国。には勢のな域り論し位命太をり育。も役能支のジてのまう丙丙て本伸背そ多のす界年本星き地あ代とに算。陽あをす味な可二陽ンじらいいの年め日と。ら本で世６日金大いに時ト方。す太でかま意切る十・レ通かてと干８とはンす人か日のが１が。暑うのー南すま。平何りる大まの方ャに天れす十２ま年ピまる天。もさ０すう界どそ学タはまいす公。あはる高支西チすりわばは成てのもりいはすの良２まょ世なれ命スでしてまてすがとせが干はは申あ言伸で平い申になてにまその。れしの東ら算を中味えしいま味ンさ長ので星をもも・れたつ丙的にし織来内本すかでい中けた年た意例味おり意ピ長成年学金事味とるそせにの済うく組出ち日ま開る戦が避れの

さ気年経よしるがわさりがとはんはま行類体運８もる正い事なしなクり界せい生施種合な２にすを率るすらにッな世ま戦で法５を的成的展勢がけ。本年ピかるりな洋憲に申体平治発姿ブ受丸。日るンをすこ模東の毎

の時代変化をとびろとしています。　日本国憲法は昭和20年施行されましたので以後50年5種類の時代を通過してきました。前回の丙申は昭和３１年（１９５６年）１月　日・ソ交渉がロンドンで再開　２月　ソ連のフルシチョフ第一書記がスターリン批判の演説　３月　能代市で大きな火事　４月　日本道路公団が設立　５月　科学技術庁が発足　６月　新教育委員会が交付　７月　第４回参議院選挙　８月　大館市で大火事　９月　魚津市で大火事　１０月　比叡山延暦寺の大講堂を焼く　１１月　メルボルンオリンピック　１２月　国連総会で日本の国連加盟が可決されました

日本国の運気と経済動向です

日本は高度経済成長の陽の時代に入りました。かつてのような高度成長は難しいとはいえ　陽の時代に入り経済発展が見込まれるようになります。　為替ですが若干の円高です。　１２０円前後が基本ですが１時的に１１５円前後となるでしょう。　株は2万円から２万２千円あたりでしょう。　ただし中国経済の動向次第では一気に２万円を割り込む展開もありそうです。　ポイントは中国の経済です。　売買は今まで以上に慎重になさって下さい。　不動産は首都圏においてはある程度の上昇がみられますが地方の都市部では安定上昇ですが都市部を離れたところでは一段と厳しい局面になります。　マンションの中古市場はかなり値下がりします。　東京オリンピックは４年後になりますが開催に向けてさらに公共投資が増えてきます。　この年は後半から一段と経済が活性化してきます。

中小企業の生き方です

企業は人です。　どういう人材を採用するかがポイントです。

人合す。頓す。要　な社考そよ利済いまは利そかとるとそ益り陥常し社大都いのと
え場ま整ま必て切　の　る①経て員で②もれ社け社か利わにの即　が不100%なもだ
さのり理りすき大す員すせ　、し社学　でこ他つ会る③変貧でにせと①はでな前
で業あ整あ直で番で社で貸す代と般命す。替　はに　け　にりま代さこ　間全壁り
業企ものが見が一かととをで時っ一算ま為すにかすつす。陽じ今時化る　人完完た
企小合内要り器　る分こ耳要のじ、いもまきいでをでらはは て変せ　て中当
大　中場社必かたすて自るに肝ら　下、すいでりとをト差今かてとてをさ　ししのも
と　いはるっしま育てす見がかす以でと買なる差ンうが陰いこ捨心るな覚　世て
るすなにすしとりうえに意とれま長とり売とびのイいきがてなりくせ　合錯。っ
くまたるくもんまど伝うなここし社こあの益伸とポうと代し切ぐべさ　都とすあ
てみ満する動ち集をによ直る　展　くに物利く品るどる時を大なす変　不だまが
っしに用明言きが員寧る素作り発　動中　がき商まにす　と　かを一ば前み合
な苦数採をや　材社丁すのをあくすにのり差大の決間行りこ　を動もえり込都
くに定を内装す人るをに員器になで的きあるが他がの実あじす方行て　思たち不
良保予材社服まていえじ社のきい目極動にけ済　来とえに同でりない　と当落。
が確用人てのりめ今考同で心動違駄積は差お経　将他考化とけやたおす常がはい。
気の採いし員あじはのが上なは間らが命はにの差がてを変去だや新にでを全合な
景材は良を社がはの長えのう益はたで運益こらのかしれは過る識た内切合完場は

心掛ける今年のポイント

思うと何があっても落ち込みません。その結果大きな事が出来るようになります。②随所主となれば立所皆真なり　どこにおいても自分が中心人物だと思って責任をもって主体的にしていくならば、真実を把握できて何事にも翻弄されずに成功する③今に生きる　過去を後悔せず未来を憂いず今この瞬間に気持ちを集中させて全力を尽くすことです。

社会現象です

殺伐とした凶悪な事件が多発します。また重い病気で亡くなる著名人が増えます。原因はテレビのニュースです。朝に昼に晩にと全ての放送局から重なって流れるとその情報が発する気が同じ現象を多発させるのです。これを気の同調といいます。逆に言えば良い気の同調は人を幸福にします。悪い情報の時はテレビを消し、良い情報の時は積極的に聞く、この方法をお薦めします。大きな災害はありませんが夏冬の寒暖の差が大きい年となります。場合によっては農家が不作で困ることもあるでしょう。一般の方は気温の差で体調を壊さないよう気を付ける必要があります。

サラリーマンの心構えです

今は知識の時代ではなく知恵の時代です。
知恵とは恵まれしを知る事。
つまり足元にある自分に与えられているものに気づき、それを大切にしていると大発展のきっかけがある。成功するサラリーマンは高望みをせず、
まずは縁があって与えられた仕事に専念し、

いかに効率良く発展させるかだけを考えるべきです。
その熱意と工夫を天の神様はみておられ
神様が感動したら次の地位を与え、
あるいはさらに良い会社からの引き抜きも出てくるのです。

海外の動向

【米国】
平成２７年の末年はオバマ大統領の運気は大低迷とお伝えしましたが
真にその通りになりました。ウクライナやシリアではロシアにやられ、
中国が埋め立てを強行、着々と自国の領土・領海を広げています。
全てオバマ大統領の弱気に起因しています。オバマ大統領の任期は２０１７年１月まで、
残り約１年。この年のオバマ大統領の運気は大低迷、殆ど力量を発揮できません。
米国経済は世界の中では安定していますが、この年は大統領の運気も悪いので
徐々に下降していきます
【ドイツとフランス】

ドイツのメルケル首相は申酉天中殺、平成２８年は天中殺となります。
例のフォルクスワーゲン不正問題などが出てドイツの国家としての運気は
一気に低迷に向かいます。イスラム圏からの難民の扱いも国家経済にダメージを与えます。
フランスのオランド大統領の運気が後半から低迷に向かいますので
経済成長力もかなり低迷を余儀なくされます。
【ロシア】
プーチン大統領が平成２６年・２７年と天中殺でした。
シリアに空爆をし国内の支持率は上がりましたが経済はかなり厳しくなりました。
イスラム国の反発を受けて治安がかなり悪くなります。経済は引き続き
悪化の一途をたどります。日本の念願である北方領土問題ですが、
様々な条件を出しながら話し合いが
徐々に進展すると見込まれます。
【中国】
習近平主席は申酉天中殺です。この年の

運気は大低迷です。健康運が低下、
また未来が見えない運気です。賄賂は中国の文化ですが賄賂を撲滅にはしった結果、
国内の中堅以上の指導者達の間で不満というより不安が広がっている。
暗殺未遂が起こる危険性が大です。
日本と安倍総理を世界から孤立させる外交政策をうって出ましたが
結果は中国が孤立する流れになってしまいかなりあせっているようです。
順調に見えた中国経済ですがもはやバブルが崩壊し始めています。
矛盾は不幸の入り口だと算命学では言います。
共産主義を維持しながら資本主義を唱えるのは矛盾。
この国の経済は必ず１度は崩れます。スタートがこの年です。
【韓国と北朝鮮】
韓国の朴大統領も申酉天中殺なのでこの年は天中殺となります。
海外との関係で非常に厳しい局面に立たされます。

外交安保も手詰まり、経済は一段と悪化するでしょう。
日本に対しては裏から様々な援助を求める要請がくるはずです。
強い者には媚びて、弱い者には強く出るという傾向がる。
日本批判をし中国になびきましたが、この年の中国経済は最悪です。
韓国経済も最悪。結果日本に様々な協力と援助を求めてくるようになります。
北朝鮮の金正恩の動きは矛盾だらけです。
実力ある側近をはじから粛正するのも矛盾です。
本人の精神状態・健康状態が悪化していると判断できます。
この政権は長くて３年以内に大きな変化が出るのではと思います。

陽の時代における身の処し方です

平成２８年は陽の時代に入って４年目です。算命学の陰陽説では陰は太陰で夜を意味します。
陽は太陽、昼間を意味します。年々未来が明るくなってきます。

何も準備も努力もしなければ運気は良くなりません。
更に幸せになる為には
①人から『ありがとう』と言われる存在になる事
②過去を後悔せず未来を憂えず今に集中する事
③１日１生と思う事、1分1分を大切にして全力を尽くす
④自分は必ず守られていると思う事
⑤笑う門には福来たるを実践する

特別、寺や山にこもる必要はありません。
この簡単なことをできない人が実に多いのです。
真事は単純さの中にあります。
他の人が出来ない単純・簡単な事をする事で他の人以上の幸運を得られるのです。
□□□□□□□□□□□

算命学
総本校　高尾学館の中村校長の教えです

2015年12月の格言

平成２７年１２月の格言は

商品の性格によって
売り方が違う

商品には、いろいろな性格がある
そして
その性格によって売り方が違うのである
それをよく心得ておくことが
販売戦略を立てる上で
重要なことである

商品の性格の分類方法はいろいろある
その中で
販売方式の違いを知るには
生産方式の違いで分類するのが
最もわかりやすい

生産方式を大分類すると
個別生産・多量生産・装置生産
の三つになる

しかし、現実には少量生産という方式もあり
それが需要増大で中量生産になることもある
同一の商品でも個別受注生産から
規格品の見込生産に移行する場合もある

そのような状況の時にも
常に考えなければならないのは
「生産方式によって販売が変わる」
ということである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より